

めむろ♡ ボランティアセンターだより

令和4年10月号(第121号)

社会福祉法人 芽室町社会福祉協議会 芽室町ボランティアセンター 発行
【事務局】〒082-0014 芽室町東4条4丁目5番地5 芽室町保健福祉センター内
TEL/62-1616 FAX/62-1657 メール/m-syakyo@memuro-syakyo.jp

つなぐ・つながる「ボランティアサロン」はじまりました!!

これからボランティア活動を始めようという人から、長年にわたり活動を続けているベテランの人まで、経験年数も活動内容も様々な人たちが訪れ、気軽に集い・語らい・学び仲間づくりの場としてボランティアサロンを定期的開催します。

7月は、「ボランティアは元気の秘訣」をテーマにミニ講話と情報交換。道内各地で開催されたボランティア愛ランドの思い出なども話し合いました。

9月は、牛乳パックのイス製作と、10月1日に開始した赤い羽根共同募金運動の準備。イスは後日、手作りのカバーをかけていただきました。なごみで使用するために、今後も製作予定です。

赤い羽根共同募金運動の準備は、個別募金用の封筒にパンフレット等を入れるというもの。その際に、共同募金に関する豆知識をお伝えしました。一番多い質問は「(封筒入れを)今までだれがやってたの?」というものでした。作業をしながら、一日の過ごし方や趣味の話、お料理の情報交換など、その時々集まった人同士の交流がありました。

ボランティアサロンはどなたでも参加できます。ご参加おまちしています。



牛乳パックのイス作成



赤い羽根共同募金準備

●ボランティアサロン～今後の予定

日 時：10月19日(水) 10:00~11:30
11月11日(金) 14:00~15:30
12月6日(火) 14:00~15:30
場 所：ふれあいサロン「なごみ」
内 容：サンタ会議(クリスマスイベントの準備)
参加方法：参加無料、予約不要。

Ho!Ho!Ho!子どもたちに
楽しいクリスマスを!



開講しました!ボランティアサマースクール

次世代を担う小中高生を対象に自分たちが住んでいる地域の福祉に対して理解と関心を持つきっかけをつくり、ボランティア活動への積極的な参加を促進することを目的として実施しました。

8月3日・10日の2日間で、高校生29名の参加がありました。

1日目は、ひとりひとりの「ちがい」、「ふくし・ボランティア」を理解するワークショップを行いました。『ふくし』のイメージについて話し合い、人と人の支え合い自体すべてが福祉であるという意見などがありました。今後、学びたいこととして、子どもの福祉課題について知りたいという意見もありました。

2日目は、コミュニケーションについての学習と体験学習を行いました。

前半は、講師に、手話サークル「ハンズ」をお迎えして、“伝える”“ことについて学びました。後半は、アイマスク（白杖）、車いす、高齢者疑似体験を行いました。

2日間の学習・体験を通して、ボランティア活動に必要な、コミュニケーションの大切さ、支え合うことについて、学んでいただきました。豊かな学び合いの機会を、今後も創っていきます。



グループワーク!ふくしとは?



伝える~手話学習



福祉体験!

「ちょこっとサポート」生活支援サポーター活動中!

高齢者の方の暮らしの中のちょっとした困りごとを「できる人が、できる時に、できる範囲で」助け合うしくみ『ちょこっとサポート』が今年1月にスタートしました。

現在、利用会員17名、協力会員（サポーター）15名の登録があります。

ゴミ出し、掃除、作業のお手伝いなど、1回30分または1時間までの助け合い活動です。

会員は随時募集しています。協力会員に登録される場合は、事前に養成講座（90分）で基本的な知識を学んでいただきます。サポーターとして活動してみませんか?



↑
詳しくは
こちら

ボランティア・イベント情報!

☆☆☆研 修☆☆☆



○「ボランティア実践者研修会」の開催のお知らせ

コロナ禍によりこれまで様々な活動が制限され、ボランティア活動・地域福祉活動が停滞する状態が続いてきました。

そうした中で、活動の再開や新たな活動に向けて、ボランティアセンター登録者・なごみサポーターが一堂に会し、横のつながりをもって芽室町のボランティア活動や地域福祉活動への気運を高め、活性化を図ることを目的に開催します。



と き：令和4年12月3日（土）13時30分～16時（受付13時～）

と ころ：めむろーど（めむろ駅前プラザ）2階 セミナーホール（本通1丁目19）

内 容：①講 演 テーマ：「困ったを支えるチカラ・躍動する町メムロ」

講 師：北海道教育大学函館校 准教授 齋藤征人氏

*専門分野（健康な地域づくり、互助の体制づくり、障がい者の地域生活支援及び就労支援など）

②グループワーク ・我が町メムロをどんな街にしたいと思うか？

・そのために自分たちができることは何か？

参加対象：ボランティアセンター登録者、なごみサポーター、地域福祉活動を行っている関係団体・個人

参加〆切：11月30日（水）

*申込用紙にご記入のうえ、郵送・FAX・Eメールにてお申し込みください。

☆☆☆ボランティア 募集中☆☆☆

クリスマスイベント

12月25日（日）に開催する、子どもを対象としたイベントのお手伝いです。

☆クリスマスの飾りづくりなど

【日時】12/14（水）～21（水）

*日曜日を除く、午後

【会場】ふれあいサロン「なごみ」

☆クリスマスの飾りつけ

【日時】12/22（木）～23（金）

【会場】芽室町保健福祉センター

*【主催】芽室町ボランティアセンター運営委員会
芽室町社会福祉協議会



昨年の様子

【申込み・お問い合わせ】

芽室町ボランティアセンター

☎ 62-1616

芽室町介護予防ポイント推進事業 に登録しませんか？

芽室町介護予防ポイント推進事業は、65歳以上の町民が、指定を受けた施設などでボランティア活動をするとポイントが付与され、そのポイントを商品券・Mポイントなどに交換することができる制度です。詳しくはボランティアセンターへお問い合わせください。

「芽室町ボランティアセンター」

LINE公式アカウントはじめました

ボランティアに関する情報をもっと身近にお届けするために、LINE公式アカウントを始めました。ボランティアや講座などの情報を、タイムリーにお知らせします。

お友だち登録は、
こちらから →



今年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。お寄せいただいた募金は、町内の高齢者や障がい者、子どもたちへの福祉活動、地域でさまざまな福祉課題に取り組むボランティア活動に役立てられています。たくさんの人の支え合いで募金活動ができています。募金の約7割が芽室町内で活用されます。みなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「ボランティアミニ愛ランド2022 in あしよろ」開催中止のお知らせ

10月23日（日）に開催を予定していましたが、参加者及び関係者の健康・安全面を第一に考慮し、感染リスクを回避するため中止することが決定されました。

参加を予定されていた皆さまには、お知らせが遅くなり、申し訳ありません。

☆☆☆ボランティア活動保険ご加入の皆さまへ☆☆☆

新型コロナウイルス感染症に関する「入院保険金等」の取扱いのお知らせ

医師に「新型コロナウイルス感染症」と診断された日が2022年9月26日以降の場合、宿泊施設・自宅での療養を「入院」とみなして保険金をお支払いする取扱いの対象を「重症化リスクの高い方（※）」とします。

（※）・65歳以上の方 ・入院を要する方 ・妊婦

・重症化リスクがあり、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により酸素投与が必要な方

*新型コロナウイルス感染症に罹患した際の補償を主な目的として保険に加入された方については、保険契約やプランの解約・変更を希望される場合には、ご相談ください。

【編集後記】朝晩寒くなってきましたね。いかがお過ごしでしょうか。久しぶりに小中高校生を対象とした事業を開催しました。皆さんの言葉に「なるほど！」と感心することもあり、考えさせられることもありました。世代を超えて、それぞれの豊かな学びの場であったと思います。人が集まるって、いいですね！（k）

芽室町ボランティアセンター 〒082-0014

芽室町東4条4丁目5番地5 芽室町保健福祉センター内

☎0155-62-1616 FAX0155-62-1657

Mail : m-syakyo@memuro-syakyo.jp

発行